

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立春日部工業高等学校	Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	専門学科の趣旨や特性を踏まえ、目指す学校像が設定されている。学校の現状や課題などを踏まえて概ね適切に設定されているが、「技を磨き心を育む」の意味するところが具体的に示されると更に良い。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	地域の期待、生徒の学力や進路の実態を踏まえ、重点目標が設定されている。学校の置かれた状況などを把握した上で、中期的視点から、更に検討・整理して目標の重点化を進め、具体的な目標とすることが望まれる。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校評価懇話会の意見をまとめて、教職員に伝え、共通理解が図られている。評価項目や方策が、「1年1・2学期の基礎学力向上対策に重点的に取り組む」など具体的に示されており、重点目標の達成に向けて本年度重点的に取り組むものとしてふさわしく、優れた取組が実践されている。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	資格取得に向けた補習など様々な方策が策定され、具体的な成果も上がってきている。評価指標が教職員間で達成イメージを共有できるものとして工夫されており、方策の達成状況を評価するためのものとして適切である。
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は組織力を高め、学校自己評価システムを生かした学校経営に取り組んでいる。学校自己評価等の1年間の詳細なスケジュールを事前に適切に示すなど、校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を持って組織的・計画的に教育活動に取り組んでいる。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	年度評価や学校関係者評価などを基に、取り組むべき課題や改善策が示されている。取組の中間整理を行うなど、進行管理も適切に行われている。課題や次年度への改善策を明らかにするため、必要なデータとなるように各種アンケートの工夫を進め、更に学校関係者の意見やアンケートの結果等を分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。
特記事項		